

碧空・へきくう ～おおぞら はるか

帯広市立帯広第四中学校 学校だより No. 12

平成28年 8月26日発行 発行者 校長 辻 敦郎
教育テーマ 『静かな時間の創造』 今年度重点 『連帯する学びの構築』

《学校教育目標》

- みかき
- かかわり
- ひらく

夏休みのある日、有意義な夏休みを取材しました。

夏休みは普段より、ゆっくりと時間が流れています。チャイムも切っているので、勉強会をスタートさせてはっと気づくと、もうお昼、という感じです。

部活動もゆとりを持って基本的な技術のチェックをしながら、プレイの確認をしています。顧問の先生の指導も充実しています。

そんなある日、学習会や部活動の様子を取材して写真を撮ってもらいました。とても暑い日でした。



夕方になると校舎が静かになります。昼間の熱気が冷め、ほっとする時間です。やがて、辺りが暗くなり、廊下を歩いて校舎を閉めます。駐車場に出ると、遠くでお祭りの音が響いていました。



お盆の土曜日
午前中の体育館を見てみると、女子バドミントン部が四人で腕立て伏せをしています。顧問の先生に「今日は四人なの。」と声をかけると「お盆の土曜日なので。」「そりゃそうだ。」と私「花火大会ですし。あ、もう一人来た。」「五人になりました。」「そりゃ良かったね。五人いたら楽しいね。」この日も暑くなりました。



グラウンド工事中



長年の念願でした、グラウンドの工事がこの夏休みから始まりました。あいにくの長雨で若干工期は遅れ気味です。

雨が降ってもスッと浸透し、風が吹いても飛びづらい土に変わっていきます。完成すれば帯広市では最新工法のグラウンドになるはずです。

始業式は話す力で・・・。



「生徒会長は挨拶のライバルです」と、思っている校長先生と、学年代表の面々・・・。

本校生徒会会長の*****君の挨拶は回を重ねる度に素晴らしいものになっています。全校生徒の前で堂々と自分の考えを語る事、話す事はとっても難しい事です。

例えば授業での発表や学級会、朝の会や生徒総会、出来ればその場で考えた事を発表したり、意見としてまとめたり、メモ程度の手稿で発表したりすることが必要です。

「話す事」をめざし、今回の始業式でも、各学年の代表の挨拶をお願いしました。夏休みの出来事や充実する時間の過ごし方、二学期の抱負など、それぞれのテーマを挨拶という形態で話しました。

「話す力」は重要な学力の一つです。生徒達の二学期に向けての真摯ですがすがしい言葉が体育館に響き渡り、私の胸にも深くしみ入りました。

夏休み中の全道大会結果

- 陸上部
 - ・ 選手 ***** (3-2)
 - ・ 成績 400m 55秒08 (自己新記録)
 - 100m 12秒44 予選敗退
- 剣道部
 - ・ 選手 先鋒：***** (2-3)
 - 次鋒：***** (2-1)
 - 中堅：***** (3-2)
 - 副将：***** (2-3)
 - 大将：***** (3-3)
 - 予選リーグ敗退 (団体)
- ・ 成績
- 体操部
 - ・ 選手 ***** (3-3)
 - ・ 成績 25位

- 卓球部
 - ・ 選手 ***** (2-3)
 - ***** (2-2)
 - ・ 成績 ***** 2回戦
 - ***** 3回戦

校長室から～

新聞で教職員の不祥事（市内教諭が強制わいせつの疑いで逮捕）が報道されました。本校では教職員の責任をいっそう重く受け止めて職務に当たって参ります。よろしくお願ひいたします。